



和歌山陸上競技協会の中公之副会長(右)から激励を受ける県チームの選手たち=田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパークで

選手たち健闘誓う

都道府県 対抗駅伝 県チーム壮行会

全国都道府県対抗駅伝大会(日本陸上競技連盟主催)に出場する県チームの壮行会が9日、田辺市上の山1丁目の田辺スポーツパークであった。激励を受けた選手たちは健闘を誓った。

第21回の男子は24日、広島市で7区間48⁺のコースで、第34回の女子は17日に京都市で9区間42・195⁺のコースでそれぞれ開かれる。どちらも、中学生から社会人までが一本のたすきをつなぐのが大会の特徴だ。紀南関係では今回、男女計9人がメンバー入りしている。

壮行会では、和歌山陸上競技協会の中公之副会長が「それぞれが設定している目標を上回る記録を出してもらいたい。期待に応えられるよう、力を発揮してほしい」と激励した。選手を代表し、田辺工

業高校3年の阪口俊平君は「和歌山の誇りをかけてベストを尽くすことに努力したい」。神島高校3年の山本明日香さんは「昨年は悔しい思いをした。今年は『20位台』という目標のために精いっぱい頑張りたい」と決意を語った。

男子チームに選ばれた選手は少ないが、誰が走っても力は変わらないのが特徴。吉田克久監督(和歌山北高校教諭)は「持っている力を発揮して結果につなげたい」と話した。大会ではここ数年、30〜40位に低迷している。

元日の全日本実業団駅伝に出場した中村悠二さん(愛知製鋼)「みなべ町出身」や松田佑太さん(SGホールディングス)のほか、2日の箱根駅伝1区を6位で走った瀧滝大記さん(中央学院大4年)がメンバー入りしている。

女子チームは大学生のメンバーが2人と少ないものの、中学、高校生の3000メートルタイムが10分を切るなどレベルは低くない。直近の2大会では46位、44位だが、長山丞監督(神島高校教諭)は「今回は県記録(2007年大会の2時間21分18秒)を更

新で能力はある。駅伝の楽しさをアピールできるようにレースをしたい」と話している。

阪口君、山本さん、中村さん、松田さん、瀧滝さん以外のメンバーは次の皆さん。

【男子】

中学生⇨水越陸(野上3年)、家吉新大(湯川2年)、都築勇貴(上芳養3年)▽高校生⇨中筋千尋(桐蔭2年)、有松憧(同)、山根昂希(和歌山北2年)

【女子】

中学生⇨岩本優歩(紀見北3年)、清水梨穂(上南部3年)、小倉稜央(海南2年)▽高校生⇨橋本奈津(神島3年)、木村仁美(同)、川口紗永(笠田3年)、瀧本菜々子(田辺2年)、岡奈津美(和歌山北2年)、野村蒼(神島1年)、高石沙知佳(桐蔭1年)▽大学生⇨永岡真衣(大阪学院4年)、細峪由麻(仏教2年)